

SJクイズ

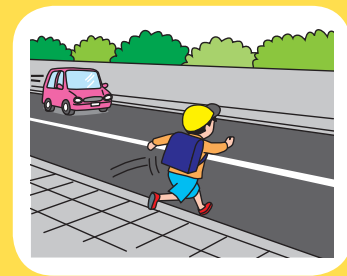
[問題編]

Q1

平成 19～23 年に発生した生活道路* 上での四輪車対歩行者の死傷事故は 1 万 932 件。事故に遭った歩行者を年齢層別にみると、12 歳以下の子どもが占める割合は、次のうちどれでしょう？

※車道幅員が 5.5m 未満の道路と、交差する道路が共に 5.5m 未満の交差点を生活道路として定義

- ①約 7% ②約 17%
③約 27% ④約 37%



Q2

生活道路上での子ども（12 歳以下）の死傷事故件数（平成 19～23 年）を事故類型別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ①対面通行中 ②背面通行中
③横断歩道外横断中 ④路上遊戯中

Q3

生活道路上での横断歩道外横断中の四輪車対歩行者（12 歳以下）の死傷事故件数（平成 19～23 年）を法令違反別にみると、四輪車側の違反で最も多いのは「安全不確認」ですが、2 番目に多いのは次のうちどれでしょう？

- ①動静不注視 ②安全速度違反
③徐行場所違反 ④交差点安全進行義務違反

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

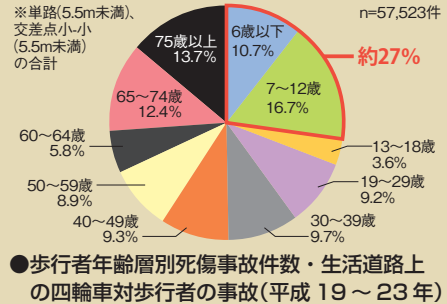
SJ クイズ ?

[解答・解説編]

Q 1 解答 ③約 27%

<解説>

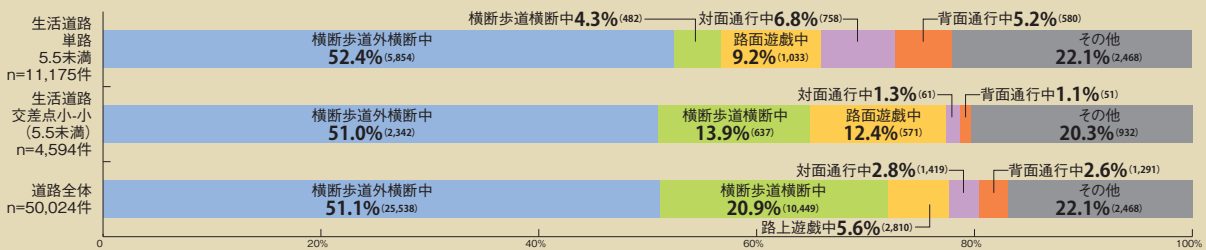
生活道路上の四輪車対歩行者の死傷事故件数（平成 19～23 年）を歩行者の年齢層別にみると、12 歳以下の子どもが占める割合が高く、全体の約 27%を占めている。このように、生活道路では子どもの歩行者が事故に遭いやすいため、ドライバーは子どもを見つけたら、子どもの動きを注視し、減速するなどの配慮が必要である。



Q 2 解答 ③横断歩道外横断中

<解説>

生活道路上での子ども（12 歳以下）の死傷事故件数（平成 19～23 年）を事故類型別にみると、「横断歩道外横断中」が最も多く、半数以上を占めている。この「横断歩道外横断中」の事故件数を子どもの法令違反別にみると、約 6 割が「飛び出し」である。横断歩道のある場所で横断することはもちろんだが、生活道路には横断歩道がない場所も多いため、横断する時は必ず止まって右左右を確認し、クルマやバイクなどがいないことを確かめてから渡るよう、子どもに伝えることが重要である。また、走行車両の直前・直後や駐停車車両の陰から横断して事故に遭うケースも見られることから、ドライバーに気づかれにくい場所から横断しないよう伝えることも必要だ。



Q 3 解答 ②安全速度違反

<解説>

生活道路上での横断歩道外横断中の四輪車対歩行者（12 歳以下）の死傷事故件数（平成 19～23 年）を法令違反別にみると、四輪車側の違反で最も多いのは「安全不確認」（39.2%）。次に多いのは「安全速度違反」で 15.3%を占めている。道路全体での「安全速度違反」の占める割合 11.6%に比べて高くなっている。また、生活道路上では四輪車の速度が 30km/h を超えると、急激に死亡事故につながる割合が高くなる。生活道路においては、ドライバーが歩行者の動きに注意するとともに、安全を確保できる低速度で走行することが事故防止につながるという。

※文中のデータ、グラフの出典は、公益財団法人 交通事故総合分析センター「イタルダ・インフォメーション No.98」

[使用上の注意]

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736